



第 26 回群馬県理学療法士学会 理学療法士の将来像

プログラム集

平成 30 年 9 月 2 日(日) 9:10~
高崎市榛名文化会館 エコール
主催：群馬県理学療法士協会
後援：高崎市

学会長挨拶

2025年までに構築を目指す地域包括ケアシステムにおいては、理学療法士の活躍が期待されています。地域に住む人々がその人らしく暮らすために多職種・多分野の連携の重要性が叫ばれており、理学療法士においても各理学療法領域に留まらないより高く幅広い能力が要求されております。

また、理学療法士を取り巻く環境も大きく変遷してきております。理学療法士の人数は10年前と比較して250%以上増と急速に増加しており、社会的なニーズが高まる一方で、理学療法士の資質が問われております。理学療法士の平均年齢は30歳台前半と若く、今後の活躍・発展が期待される一方で、長期的な視点から理学療法士の置かれる状況を俯瞰し、危機感を持ちつつも今後の社会で期待される役割を今一度見直す機会も重要となります。

こういった背景から今年のテーマを『理学療法士の将来像』とさせて頂きました。本学会では、基調講演や教育講演、一般演題等に加え、今年は地域住民を対象とした市民公開講座や企業共催のランチオンセミナーも予定しております。ぜひ皆様のご参加をお待ち申し上げます。

学会長 原田亮

協賛企業

(敬称略・50音順)

一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会

伊藤超短波株式会社

鬼石病院

株式会社 クリニコ

株式会社 孫の手・ぐんま

株式会社 ゆうあいリハビリライフケア

株式会社 BMZ

群馬医療福祉大学

群馬パース大学

群馬リハビリテーション病院

高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法
学科

東洋ケアサービス 株式会社

富岡地域医療企業団 公立七日市病院

沼田脳神経外科循環器科病院

榛名荘病院

有限会社 前橋義肢製作所

わかば病院

プログラム

	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール	第3会場 研修室5	第4会場 ホワイエ
8:40	受付			
9:10	開会式			
9:20 10:50	基調講演			
11:00 12:05	一般演題 口述 神経			
12:20	市民公開講座 13:00 会場 13:30 開始 14:30 終了	ランチョン セミナー		
13:20		教育講演		
13:30 14:30				
14:45 15:50		一般演題 口述 運動器	一般演題 口述 生活環境支援	一般演題 ポスター 運動器・その他
16:00 16:30		閉会式		

協賛企業紹介ブース

第4会場 ホワイエ (ポスター会場手前) 9:10~15:30

(敬称略・50音順)

伊藤超短波株式会社

株式会社 クリニコ

株式会社 孫の手・ぐんま

群馬医療福祉大学

沼田脳神経外科循環器科病院

各講演内容

〈基調講演〉

第1会場 大ホール 9:20-10:50

「理学療法士の将来像」

講師：松井 一人 先生

日本理学療法士協会常務理事、ほっとリハビリシステムズ代表取締役

座長：山路 雄彦

群馬大学医学保健学科理学療法学専攻

学会テーマの「理学療法士の将来像」、サブテーマの「地域包括ケアシステム」や「私たちのこれから」に基づいて、地域包括ケアシステムを踏まえた今後の理学療法士を取り巻く環境の変化や、その中における地域リハビリテーションの展開や理学療法士にできること・役割についてご講演頂く予定です。理学療法士・JPTA 常務理事であり、経営者でもある松井先生の様々な立場からお話を頂けると思います。若手からベテランまでそれぞれの今後の理学療法士としてのあり方について様々なヒントが得られると思います。

〈市民公開講座〉

第1会場 大ホール 13:30-14:30

「健康寿命をのばすコツ-動こう！歩こう！出かけよう！-」

講師：浅川 康吉 先生

首都大学東京健康福祉学部理学療法学科教授

座長：新谷 和文

介護老人保健施設うららく

理学療法士は医療や介護の場で病気、障害、虚弱などに対するリハビリテーションに取り組んでいる経験を生かし、その発生や重度化を防ぐための介護予防にも積極的に取り組んでいます。本講座ではその取り組みを踏まえて「健康寿命を延ばすコツ」として、高齢期に生じやすい動作能力低下や転倒事故の予防に役立つ体操とその効果的な実践方法を紹介させていただきます。

〈教育講演〉

第2会場 小ホール 13:30-14:30

「機能解剖学に基づく運動器のみかた-局所と全身から-」

講師：武井 健児 先生

ぐんまスポーツ整形外科

座長：大角 哲也

榛名荘病院

対象者が訴える痛みの原因は、必ずしも痛みの部位にあるとは限らず、動作の機能障害に起因することも多い。痛みの要因となる機能障害が生じている問題点を抽出する評価を行うことが必要となる。そして問題点への介入が局所的な可動性や筋出力、動作などを変化させたただけなのか、または動作パターンを変化させたのかを再評価することが必要である。この評価は、機能障害に対処していく過程や介入後の変化を対象者や医師へ説明し、共有するために重要と考える。本講演では主に若手 PT を対象に当クリニックで実践している動作、機能障害の評価方法などを紹介します。

〈ランチョンセミナー〉

第2会場 小ホール 12:20-13:20

「明日から始めるリハビリテーション栄養」

講師：高橋 浩平 先生

田村外科病院

座長：原田 亮

榛名荘病院

リハビリテーションを実施している高齢者は低栄養を合併していることが少なくない。低栄養状態で積極的な運動を行うと、筋蛋白分解が亢進し、かえって機能が悪化することがある。理学療法の効果を最大限発揮するためには、栄養状態を含めたリスク管理を行い、他職種と連携したリハ栄養管理を実践することが重要である。本講演では、明日からできるリハ栄養の実践方法を解説します。

一般演題プログラム

<第1会場 大ホール>

口述発表Ⅰ 神経理学療法

11:00-12:05

座長 寺垣 康裕

はるな脳外科

- 1 被殻出血症例に対する急性期理学療法の一考察
—内側運動制御系と先行随伴性姿勢調節に着目した介入—
沼田脳神経外科循環器科病院 武田 廉
- 2 歩容の改善から歩行距離の延長が得られた脳卒中後片麻痺患者の症例
公立藤岡総合病院 内山 亜純
- 3 回復期脳卒中患者の歩行および移乗動作自立を予測するためのカットオフ値の検討
公立七日市病院 小松 大輝
- 4 ロボットスーツ HAL を用いたタッピング刺激の有効性
かがやき訪問看護ステーション 藤田 渉
- 5 HONDA 歩行アシストが回復期リハビリテーション病棟患者のアウトカムに与える影響
日高病院リハビリテーションセンター 塩澤 里佳
- 6 Honda Walking assist device 使用により歩行中に device が検出した麻痺側股関節角度が改善した脳梗塞右片麻痺症例
医療法人社団日高会 日高病院 リハビリテーションセンター 回復期リハビリ室 高橋 悠

<第3会場 研修室5>

口述発表Ⅱ 基礎理学療法

11:00-12:05

座長 石橋 邦雄

公立富岡総合病院

- 7 亜急性期脳卒中患者における FACT の妥当性の検討
吾妻脳神経外科循環器科 島 千秋
- 8 脳卒中回復期における上肢リーチ機能の改善は患者満足度に寄与するか？
高崎健康福祉大学 保健医療学部 理学療法学科 富田 洋介
- 9 回復期リハビリテーション病棟入院患者における入院時の意欲と身体機能および ADL 能力の関連性について
公立七日市病院 堀口 拓
- 10 回復期リハビリテーション病棟における低栄養状態の脳卒中患者の入院時食形態と退院時の身体状況についての検討
公立七日市病院 松井 智子
- 11 パワープレートを使用した全身振動刺激実施時の周波数・振幅の違いが即時的な筋柔軟性改善へ与える影響について
自宅会員 小柳 裕之
- 12 上位運動ニューロン症候群の歩行による足関節底屈筋動作時筋緊張への影響
榛名荘病院 黛 太佑

<第4会場 ホワイエ>

ポスター発表Ⅲ 生活環境支援理学療法

11:00-12:05

座長 大橋 賢人

前橋協立病院 通所リハビリ未来

- 13 看護職員における腰痛実態と理学療法ニーズ
公立藤岡総合病院 宮下 幸平
- 14 特別支援学校教員とリハビリテーション専門職の連携に関するアンケート調査
療育センター きぼう 長久保 貴義
- 15 高齢独居の慢性Ⅱ型呼吸不全患者でも、多職種連携により NPPV 導入が可能であった一例
医療法人恒信会こやぎ内科 佐々木 彩乃
- 16 高崎市西部地区の地域在住高齢者における生活空間との関連因子からみた介護予防活動の課題
榛名荘病院 塩浦 宏祐
- 17 山間部地域サロン参加者における運動機能と生活習慣に関する検討
介護老人保健施設 あげぼの苑 田辺 将也
- 18 山間地区のサロン参加者における転倒歴と 2 ステップテスト・5 回立ち上がりテストは関連するか？
榛名荘病院 鳥毛 正弘
- 19 健康安全運転講座参加高齢者の運転状況と trail making test-A の関係
群馬県理学療法士協会地域包括ケアシステム部、群馬大学大学院保健学研究科 山上 徹也

<第2会場 小ホール>

口述発表Ⅳ 運動器理学療法

14:45-15:50

座長 樋口 大輔

高崎健康福祉大学

- | | | | |
|----|------------------------------------|---------------------|-------|
| 20 | 人工膝関節置換術後における歩行に対する自己効力感と運動機能の関係 | 上牧温泉病院 | 塚本 泰弘 |
| 21 | 人工膝関節全置換術後における歩行手段と膝伸展筋力の推移 | 上牧温泉病院 | 猪熊 風斗 |
| 22 | 超音波画像診断装置を用いた内側半月板計測における信頼性について | 慶友整形外科病院 リハビリテーション科 | 菅原 赳大 |
| 23 | 広範囲腱板断裂に対してリバーズ型人工肩関節置換術を施行した一症例 | サンピエール病院 | 藤原 雄也 |
| 24 | 健常成人男性における胸骨下角と体幹回旋・側屈・伸展可動域との相関関係 | 慶友整形外科病院 リハビリテーション科 | 川鍋 慧人 |
| 25 | 体幹伸展筋の筋活動が僧帽筋下部線維の筋活動 | 慶友整形外科病院 | 長南 晴樹 |

<第3会場 研修室5>

口述発表Ⅴ 生活環境支援理学療法

14:45-15:50

座長 朝倉 智之

群馬大学

- | | | | |
|----|---|----------------------|-------|
| 26 | 実践活動を通じた地域理学療法教育の可能性～学生主体の健康講座を継続する意義～ | 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 | 柴 ひとみ |
| 27 | 当院における運動器検診後のフォローアップ活動 | 医療法人マリア ほしの整形外科クリニック | 鈴木 厚太 |
| 28 | 骨粗鬆症を呈する認知症者の転倒・骨折公表された既存データの二次分析より - | 群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 | 村山 明彦 |
| 29 | 回復期退院後の転倒に関わる要因 | 群馬リハビリテーション病院 | 今井 千晶 |
| 30 | 公共施設・公共交通機関との連携により、市営プールへ復帰した一例 | 医療法人 樹心会 角田病院 | 針谷 優輔 |
| 31 | 群馬県回復期病棟における脊髄損傷者の実態調査とリハビリテーションの課題について | 榛名荘病院 | 小林 千華 |

<第4会場 ホワイト>

ポスター発表Ⅵ 運動器理学療法・その他

14:45-15:50

座長 富田 洋介

高崎健康福祉大学

- | | | | |
|----|---|-----------------|--------|
| 32 | 腰椎変性疾患術後患者における動作指導の効果の現状とその関連要因 | 榛名荘病院リハビリテーション部 | 千須和 真幸 |
| 33 | 二次的運動課題が跨ぎ動作に及ぼす影響 | 公立七日市病院 | 小林 壮太 |
| 34 | 右脛骨腓骨骨幹部骨折患者に対する BiNI アプローチにより BESTest 点数変化を認めた症例 | 日高リハビリテーション病院 | 澁澤 佳佑 |
| 35 | 廃用症候群の歩行可否に及ぼす因子 | 群馬リハビリテーション病院 | 伊東 知也 |
| 36 | 脳卒中患者における入院時 FBS と歩行能力との関連 | 群馬リハビリテーション病院 | 長谷川 純 |
| 37 | 頸髄不全損傷者の歩行自立に関わる要因の検討 | 群馬リハビリテーション病院 | 清水 雄太 |
| 38 | DMAT としての課題と今後の展望 | 沼田脳神経外科循環器科病院 | 田中 真稔 |

アクセス



榛名文化会館 エコール
高崎市上里見町 1072-1
027-374-5001 (月、火休館)

駐車スペース(合計 300 台)に限りがございますので、可能な限り乗り合わせの上、ご来場頂きますようよろしくお願い致します。当日は一般市民の方も利用されますので、会員の方は奥からの駐車にご協力下さい。

高崎・伊勢崎方面：

国道 18 号線から「君が代橋西」で右折し、県道 406 号線を榛名方面へ道なりに直進。「上里見」の交差点で左折して、会場駐車場をご利用ください。

前橋・渋川方面：

県道 10 号線を安中方面へ。「下大島町」で右折、県道 406 号線を榛名方面へ道なりに直進。「上里見」の交差点で左折して、会場駐車場をご利用ください。

前橋 I.C から：

高崎方面へ。国道 17 号線の「緑町」で右折し、高崎北部環状線へ。「上豊岡町北」で右折し、県道 406 号線を榛名方面へ道なりに直進。「上里見」の交差点で左折して、会場駐車場をご利用ください。

第 26 回群馬県理学療法士学会事務局

〒370-3347 群馬県高崎市中室田町 5989

榛名荘病院リハビリテーション部

TEL : 027-374-1135 FAX : 027-374-1139 Mail : 26pt.gakkai@gmail.com